

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

例会場 名古屋グレストンホテル TEL 052-264-8000
 例会日時 木曜日 12:30
 クラブ会報広報委員長 横田 佳奈
 HP <http://rc.nagoya-seinan.org/>

2020-21年度RLテーマ
 会長 ホルガー・クナーク



承認 1995.3.28
 会長 成田 勝彦
 幹事 恵利 有司
 事務局 名古屋市中区栄3-29-1
 名古屋グレストンホテル 1007号
 TEL 052-263-1324
 FAX 052-263-0730
 Email seinan1@fancy.ocn.ne.jp

成田勝彦会長 年度目標 : “一致団結” 和気あいあいと仲よく楽しく過ごそう

第 1152 回 例会 No. 7 令和 2 年 10 月 15 日 (木)

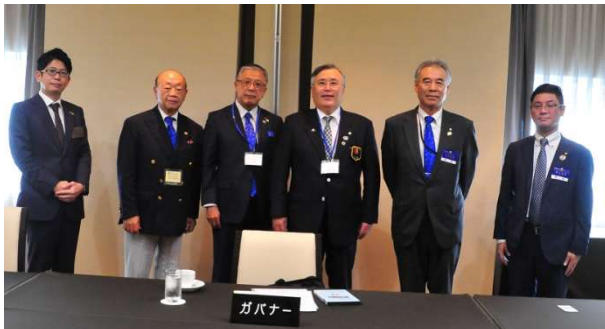
ガバナー公式訪問

■ロータリーソング	「我等の生業」
■出席報告	会員46名中23名出席
■出席率	53.49% 出席計算人数43名
■修正出席率	10月1日休会
■ゲスト	ガバナー 岡部 勢 様 地区幹事 伊藤満琉 様 名古屋名駅 RC 会長 山本裕三 様 同 幹事 加藤友康 様

会長挨拶

成田勝彦

皆さん、こんにちは。
 先ほど、名駅・丸の内ロータリークラブ会長幹事のガバナー懇談会がありました。本来なら例会もみなど名駅、丸の内の3クラブ合同例会でありましたが、三密を避けるために、今回は各クラブでの例会といたしました。



地区行事におきまして 10 月の半ばに、恒例の WFF (ワールドフードフェスタ) の開催が予定されていまして、たくさんの方で賑わいのある行事ですが、昨年の台風と今年のコロナの感染拡大により、2 年連続やむなく中止になりました。また地区大会においても 10 月から来年の 3 月に延期。本来なら 2 日間の予定でしたが、1 日の縮小開催となり、何もかもが難しい現状の中で来年度に向かっては大いに期待したいと思います。
 今後は皆さんと共にモチベーションを上げてクラブをより一層強くするためにも会員同士の心の扉を大きく開くことが大切です。「誰もが気にかけてくれない」これでは出席低下になります。まずは会員同士が、親睦そして同好会などを通じて一人ひとりの関わり合いを積極的に挨拶やお声をかけていくよう心がけていただきたいと思います。
 クラブとしては楽しい時間を皆さんと一緒に共有し秩序ある

例会を進めて、常に進化をし続ける丸の内クラブでいきましょう。皆さんよろしくお願いたします。ありがとうございました。

ニコBOX

ガバナー 岡部 勢 様

本日はガバナー公式訪問です。
 よろしくお願致します。

名古屋名駅 RC 会長 山本裕三様、幹事 加藤友康様
 合同例会に参加して！

横田さん おかげさまで、10 月で東海東京証券は 20 周年を迎えました。

●本日はガバナー公式訪問です。岡部ガバナー、伊藤地区幹事、ようこそお越しくださいました。
 どうぞよろしくお願申し上げます。

成田会長、恵利幹事、大塚、亀井、藤田、恵利、松尾、小原、矢野、西川、岩田、長谷川、水野、田島、加藤、堀江、磯部、高山、伊藤、後藤、高橋(敬称略)

●秋のニコニコ健康感謝 Day 伊藤さん

本日合計 65,000円

社会奉仕委員会報告

愛知県立名古屋聾学校訪問

社会奉仕委員長 加藤 豊

10 月 9 日に名古屋聾学校を訪問し、今年度の支援について協議してまいりました。また、昨年度 1 月に開催されたチャリティーオークション収益金より、10 万円を寄付いたしましたのでご報告申し上げます



卓 話

「ガバナー公式訪問講話」

第 2760 地区ガバナー 岡部 勢

皆さんこんにちは。私が 2020~21 年度ガバナーの岡部です。名古屋北ロータリークラブの所属です。本日は丸の内ロータリークラブさんの公式訪問、まことにありがとうございます。また名駅 RC、山本会長のご臨席、ありがとうございます。

ガバナー公式訪問講話と言うことで、私が今年 1 月 19 日から 25 日までサンディエゴの国際協議会に参加して参りましたその時の様子と、本年度ホルガー・クナーク RI 会長の RI テーマ、そして、私の地区方針、行動指針等について説明したいと思います。

それではまず私の略歴です。生年月日は 1959 年昭和 34 年 4 月 19 日 61 歳です。1986 年早稲田大学政治経済学部政治学科を卒業し同年産業経済新聞社 産経新聞社に就職いたしました。

東京本社営業部編集局社会部、大阪本社米国ニューヨークへの留学を経て 1994 年に退社。

同年父親が経営する株式会社オカベ物流に入社し、2001 年代表取締役就任。現在に至っております。

団体役員としましては愛知県トラック協会常任理事ほか、いくつか引き受けております。

趣味資格といたしましては、全日本剣道連盟認定 剣道の三段です。

そしてワインと食事が好きですので、ワインエキスパートを 2004 年に取得しております。

また業務と関連いたしまして、JUIDA 認定ドローン操縦士の資格も持っておりますが、皆さんご存知の通り「首相官邸にドローンが落ちた」と言うことで今現在、日本中どこでも飛ばせないような状態になりまして、私の望みはガバナー一年度が終わりましたらドローンを持って世界中を旅し、素晴らしい映像を撮ると言うことでございます。その他、1 級小型船舶操縦士、ゴルフはハンディキャップ 15 です。

国際協議会について。

マンチェスターグランドハイアットサンディエゴホテルが国際協議会の会場です。約 3000 人を収容できる、アメリカらしい超大型ツインタワー構造ホテルです。

ここで世界 234 地区から 534 人のガバナーエレクト、そしてパートナーも含めると 1068 名、その 1068 名が 1 週間の厳しいロータリー研修を受けます。

非常にタイトなスケジュールでしたが得るものも大変大きかったと思います。

ロサンジェルスから南へ約 500Km、大変温暖で風光明媚な街でございました。



私は協議会の前日ホテルに入りましたけれども、既に「ウェルカム トゥー ザ ロータリーインターナショナル アssenブリー」という垂れ幕がかかっておりまして、大変雰囲気が出ておりました。

「リーダーが世界から集まりアイデアを交換し、行動を起こそう」

国際協議会はフォーラムやミーティングではありません。アssenブリーです。いろいろなアイデアを持ち寄って組み立てる、そういうことであります。

毎日午前中には本会議が行われます。

本年度本会議基調講演ではローターアクトのプレゼンが目立ちました。

昨年度のマローニー RI 会長に続きまして、クナークさんも非常にローターアクトを重視しております。そして RI の CEO 事務総長のジョン・ヒューコさんです。

2019 年突然 RI CEO 最高経営責任者ができたと言うことで RI 会長とどちらが偉いのかというような話になりましたけれども、この日も「変化の中でのリーダーシップ」という題で、講話をされました。一番最初に「みんな今日は何語でやる？スペイン語どう？」と言うと、会場から「スペイン語いいね」と言う話になりまして、30 分の講話を終始スペイン語でされました。ご本人はもちろん英語もできますし、ロシアに駐在したこともありましたのでロシア語もできます。ジョン・ヒューコさんは大変気難しい方だと思いましたが、名刺交換もし、記念写真にもすぐに応じて頂きました。

今は本当にわからないことがあったらジョン・ヒューコさんに聞こう、そのように思っています。

毎日午後になりますと様々な課題に取り組む分科会。1 セッション 90 分が行われます。RI 研修リーダーがテキストに基づいて、様々な難題を出して参ります。非常に難しい、答えがないものも多いので、大変わからないなと言うことで苦しみました。

そして今年度もローターアクターが国際協議会に参加しました。

この分科会でも大変素晴らしい対応をして将来有望なロータリアンだと思えました。男性は千葉のローターアクター。女性は静岡のローターアクターです。次年度以降、同地区でもローターアクターを国際協議会に出したいと思っています。

そして世界のガバナーのアイデアを出し合うセッション。机の上に表題があり、それをもとに 3 人で何かアイデアを作って下さいと言うことで、アイデアを作って後ろの黒板に貼り付けます。そうしますと、それを見た世界のガバナーエレクトが、「このアイデアはおもしろいからうちでやろう」「こちらもいいよ」と言うことでアイデアを競い合う。そんなようなセッションです。このセッションも 6 カ国語で行われ、大変国際的なセッションだと思えました。

それでははいよいよ本題に入って参ります。

ガバナー補佐の報告と共通かもしれないませんが、責務ですのでやらせていただきます。

RI 会長のホルガー・クナークさん。ヘルツォークトムラウエンブルク メルン ロータリークラブ所属。ドイ

ツの方です。1992年にロータリーに入会。年齢は68歳だと言われております。ロータリーの財務庁等各役職をし、現在は恒久基金 大口寄付アドバイザーを務めてみます。奥様のスザンヌ夫人とともにメジャードナーで、遺族友の会会員としてロータリー財団を支えています。

そしてRI 会長テーマ ログマークの意味です。3つの扉は機会の扉を表現します。

扉の色は右からロータリー・ロイヤルブルー、ロータリー・ゴールド、そして今年度重視のローターアクトを表すクランベリー・レッドが入っています。

若い人を入れて奉仕活動で多くの人に機械の扉を開こう、クラブの活性化会員増加に役立てよう。そういう意味であります。

それではここ数年で最もよい講話だったと言われております、会長の講話の要旨です。

1. ロータリーを唯一無二にするのは国境を越えた多様性。今アメリカ、中国を中心にテロがはびこっております。絶対にお互いを認めない、そういうことが続けばそれは必ず争いになります。一方でロータリーは国境越えた多様性を認め合います。人種文化慣習など全てそういうものを認め、そういうことが平和につながる、そういう考えがあります。

2. ロータリアンは共有する価値観のもとに集まった人々。

3. その価値観とは「4つのテスト」と「中核的価値観」。これは後ほど説明します。

4. ロータリーは奉仕プロジェクトを実施する機会を与えてくれる。日常の業務でなかなかロータリーのような奉仕プロジェクトを行うことができません。ロータリーに入ったからこそできることがあります。

5. 寄付も重要ですが奉仕プロジェクトができるのがロータリーの魅力です。

6. それらは実際に目でみて体験できるもの。

私も地区国際奉仕委員としてベトナム、タイ、カンボジアなどいろんな所へ行って参りました。現時点で国際奉仕をいたしますと、大変現地の方に喜んでいただけるとともに、子供たちのつづらな瞳、こういうことを忘れることができません。ぜひ皆さんにもそういう気持ちを味わっていただけたらと思います。また9月23日に市内25ロータリークラブ社会奉仕委員会から、子供食堂に寄付いたしました。その際子供食堂の主催者の方が子供に食料をあげると、小脇に抱えて本当にうれしそうに外へ飛び出していきいんですね。世界の貧困も大変ですが、国内の貧困も今重要な局面に来ております。こうした場面でもロータリアンは貢献できます。

7. ロータリーはリーダーシップの機会を与えてくれる。よくロータリーは「I serve」といいます。この「I serve」=リーダーシップです。

8. リーダーは別の人のリーダーシップも養成することができ、さらに他の人にもインスピレーションを与えることができる。奉仕プロジェクトを行えばリーダーが必要になります。リーダーと一緒にやる人にそのリーダーシップを教えます。それを見た他のクラブの人たちまた

周囲の人たちがインスピレーションを与えられる。そういう素晴らしい循環が生まれます

9. この変化の時代にリーダーシップができる人は幸い。1月の時点ではまだ新型コロナの恐怖はありませんでした。しかし変化の時代は常に起こります。こうした新型コロナなどの大きな変化は必ず時代を変えて行きます。そういう時代のリーダーシップを取れる人は、またいろんなことができます。私もYouTubeや動画には大変詳しくなりました。ぜひ会長幹事さんも頑張ってください。

10. 「ロータリーは機会の扉を開く。」世界の人々に開かれた扉。

それではロータリアンが共有する2つの価値観について。「4つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

「中核的価値観」

親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップです。

この2つは変わらないロータリーの価値観です。

そして「ロータリーのビジョン声明」。

私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。

ホルガー・クナークさんの標語では、Togetherが英文の1番最初に入っています。

そして2019年からのRI戦略計画「4つの優先事項」

時代は常に動きますので、本当にその奉仕プロジェクトが目的に合っているかどうかをよく見る必要があります。

その際はこの「4つの優先事項」、

○より大きなインパクトをもたらすか

○参加者の基盤を広げるか

○参加者の積極的なかわりを促すか

○適応力を高める場を与えるか

を、よく検討しますと正しいプロジェクトができるこのような意味であります。

こうしたRIのテーマを受けまして、岡部年度地区方針をこのように決めました。

「行動するロータリアン！世界で何かよいことをしよう、TOGETHER！」

～ロータリークラブの奉仕が、世界の平和につながっていきます。～

何を大げさなと言われる方がいるかもしれませんが。しかし今年1月サンディエゴ国際協議会において私たちガバナーエレクトが集まって、朝から晩まで1週間ロータリー漬の研修を受けます。そしてこの人たちがガバナーとなって世界の200カ国に散らばり、奉仕を続けております。ちなみにこの地域のDDFだけでも66。さらにクラブのものを含めると200位のプロジェクトが動いています。世界が動かないはずはありません。

そして地区ビジョン。私たちの第2760地区は、RIテーマをよく理解した上で、それぞれの地域、クラブの特性を鑑みて「活力のある、個性に満ちた、多様性のあ

る」クラブが活動できる場所・場面を提案・支援してゆきます。

クラブが中心であるということを明確にいたしました。そして行動指針です。

1 クラブはロータリーの中心クラブの活性化を図ろう。

クラブはロータリーのその中心です。クラブ戦略委員会を設置して5年後のビジョンを描き、その魅力を会員に伝えます。また、クラブ研修委員会を設置し、それを持続可能にする入会3年以内のクラブ会員のリーダーシップを養成しましょう。

ちなみにクラブの役割の1つに素晴らしいロータリアンを育てるといったものがあります。

2 ロータリーファミリーとの連携強化をしよう。

本年度はローターアクターとRCCに注力しております。RCCは子ども食堂です。

3 オンライン・ツール、リソースの活用しよう。

マイロータリーがバージョンアップしました。ぜひこの機会にご登録してください。ラーニングセンターの情報は大変勉強になります。

4 会員増強をしよう。会員増強がボルガー・クナークRI会長の目標です。その他、新クラブの結成のために衛星クラブと言うものもありますので、先程の会長幹事懇談会でもご説明しましたがぜひこれを考慮に入れてください。

5 ロータリー賞へ挑戦しよう。

今年度よりオンラインによるロータリークラブ・セントラルから申請ができます。

6 国際大会 2021年6月12日から16日、台湾・台北市で行われます。台湾は親日国であり、旅の魅力も一杯です。台湾で世界のロータリアンと交流しましょう。ちなみにガバナーナイトは13日円山大飯店。私も登録しております。

ポイントとして、今年度より「クラブ活性化セミナー」が始まります。9月4日の財団セミナーに会員増強セミナー、公共イメージ向上セミナーを併せて、クラブ活性化セミナーとして今回は趣を変えました。出席義務の委員会が多すぎると言う批判もありましたので、こうした負担を減らすことも課題ではありましたが、さらに3つの委員会では相関関係があります。PDAを使って包括プロジェクトを行う。それを、公共イメージ、テレビ、新聞等で流したところ、それをやりたいと言う人は会員増強につながる、そのような三位一体の効果を出していただければと思います。

皆さんに4つのお願いです。

1. 2021年愛知県国際展示場においてハイブリッド地区大会が行われます。100%全員登録運動にご協力ください。イベントが少ない時ですので皆さんで協力しあおうということです。知立ロータリーさんがホストになります。ただいま素晴らしい企画をいろいろ考えております。特に機員委員長からは大懇親会をやりたいということで、ロータリーファンドのコンテストと、ケントスというところのビートルズバンドなどご期待ください。
2. マイロータリーの登録です
3. ロータリー財団・米山資格奨学金寄付をお願いします

す。ちなみに今年度は日本のロータリー100周年です。

4. 台北国際大会に参加しましょう。一生の思い出になります。ちなみに実は今年度は財団の大口者には、かの帝王ジャック・ニクラウスの個人レッスンが付いておりました。ロータリアンにはゴルフが好きな人も多いので、ぜひお金が余った方と思ったのですが、今年度はコロナ禍で中止になりました。来年度はまた復活の可能性がございます。ぜひ応募してジャック・ニクラウスの個人レッスンを受けてください。

そしてホルガー・クナークRI会長の書簡を預かっております。(以下、文面)

「2020から2021年度ガバナーには次の重要メッセージをクラブ公式訪問の時にお願いします。

1. 地区は新しい革新的なクラブを作ることに、積極的に取り組みます。そのためには皆さまからのご支援が必要となります。皆さまはまた、衛星クラブや地域社会を基盤とするローターアクトクラブを立ち上げることで、参加者の基盤を広げることに貢献できます。

2. すべてのクラブは毎年、少なくとも一回の戦略会議を開き、皆様には次のことを会員に問いかけていただきます。「私たちのクラブが5年後にどのようなクラブになっているべきか、また、このビジョンを達成するためにどのようなステップを踏むべきか。」

「私たちのクラブで、会員はどのような価値を得ることができるか。」この会議を進行する人を選んでください。

3. 新会員を注意して選びましょう。新会員にとって皆さまのクラブがぴったりと合うこと、そして新会員の期待に応えるクラブであることを確認しましょう。新会員の面倒を見て、積極的な参加を促してください。ロータリアンとなるのに不相应な年齢などありません。

4. ポリオ根絶のための寄付を行い、10月の世界ポリオデーに合わせた行事・イベントを開催し、これからも根絶活動の支援を継続していきましょう。私たちは、世界の子どもたちと交わした約束を守らなければいけません。

敬具」



ホルガー・クナーク会長からは、日本の職業奉仕に大変高い評価をしていただいております。創始者ポール・ハリスは「変化の年に革命あるべし」と言っています。新型コロナに負けるな。クラブ改善にクラブ会員の皆さん、よろしく願います。

ご清聴ありがとうございました。

今後の例会予定

10月22日(木)第1153回例会

「会員卓話」

◎10月29日(木)・11月5日(木) 休会

11月12日(木)第1154回例会

「財団月間卓話」地区グローバル奨学生・平和フェロー

副委員長 加納昭臣様